

森林保全整備活動 報告

東大阪フォレストクラブ

『月に一度は山仕事』を合言葉に、本年度は毎月第三日曜日に延べ11回、総延べ参加人数184名で、上石切町2丁目の放置人工林（ヒノキ林）およそ0.39畝の整備を行いました。

月別参加人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
会員	11	13	7	12	/	16	16	14	15	12	15	15	
会員外				/		1		11	1		25		総計
計	11	13	7	12		17	16	25	16	12	40	15	184



幸いなことに、雨天による中止は一日もなく、進入路の下草狩り、作業路の補修、傾倒木の除伐や間伐などを行いました。

11月の『大阪府山に親しむ推進月間』には、一般市民向けの『森林整備体験講座』を実施し、初参加の市民11名を含む総勢25名で、午前中の講義、午後からの間伐実習を行いました。

その中から、会員入会者が2名誕生しました。



また、2月には市の実施した『森林ボランティア養成講座』の実技場所として、当ヤードを提供し、研修生25名の間伐実習をしていただきました。

その中から、新たな仲間ができるよう、積極的に呼び掛けていきたいと思ひます。



事業効果及び今後の方向性



放置森林の整備により、土砂流失の防止や下層植生の繁茂が進み、保水性に富んだ土壌が形成され、微生物やミミズなどが生息する環境となり、落枝や落葉の分解などが促進され、食物連鎖等による生息動植物の多様化（リスやイノシシの痕跡、サルトリイバラやシロダモの自生が見られた）が期待できる。



また、光合成作用の強化による地球温暖化ガス（CO2）の吸収などを高めることができた。

今後とも広く市民等に森林保全整備活動のPRをし、身近な生駒山の自然を子や孫に引き継いでいけるよう、特に若年層の会員獲得に努力したいと思ひます。